



1858年（安政5年）に創立されて以来、「全社会の先導者たらん」という福澤諭吉の志のもと、あらゆる分野にわたり社会を先導してきた慶應義塾大学様。2008年には、日本の近代総合学塾としてはじめて創立150年を迎えます。今回、ソニーのデータプロジェクターVPL-FE40を導入いただいた理工学部のある矢上キャンパスは、学部3、4年生と大学院生、研究者が在籍。研究活動のための施設が立ち並び、2000年4月には分野を超えてオープンに研究ができる多機能な設備を備えた「創想館」が開館するなど、歴史と新しさが同居する理工学の“研究拠点”となっています。



学校法人慶應義塾 慶應義塾大学
理工学部学事課 永末啓太様にお話をお伺いました。

データプロジェクター お客様事例 学校法人慶應義塾 慶應義塾大学様

VPL-FE40

教育

**教育・研究設備の充実を目指し、セミナールームを改修。
VPL-FE40による高輝度・高画質映像は遠隔授業でも好評**

お客様のニーズ・課題

教育・研究設備の充実のため、セミナールームに遠隔講義システムを設置。その際、遠隔地からモニター越しでも資料が読み取れる高品質のプロジェクターを求めていた。

導入効果

高輝度・高解像度による鮮やかな映像は、ビデオ会議システムのカメラを通して鮮明に見える。また、照明を落とす手間などがいらず、授業がスムーズに進むと好評。

導入背景

**教育・研究設備の充実のため、
セミナールームに遠隔システムを設置したい。**

理工学部の3年生以降が在籍する矢上キャンパスには、もともとプロジェクターなどの視聴覚装置を設置したセミナールームが数室あり、そのうちの1室で、授業のほかに、各シンポジウムやビデオ会議システムを使用した遠隔授業などを開催していました。遠隔授業の際には、ソニー製ビデオ会議システム(PCS-1)を持ち込んでセッティングしていたのですが、教室に常設されたビデオ会議システムが欲しいという要望があがり、セミナールームの設備全体を構築しなおすことになりました。検討の結果、セミナールームに、ソニー製ビデオ会議システム(PCS-G70S)1台と旋回型3CCDカラービデオカメラ(BRC-300)2台とともに、データプロジェクターVPL-FE40を2台導入しました。



遠隔授業等の舞台となるセミナールームに、VPL-FE40を2台設置。

選定理由

高輝度・高解像度、しかもコンパクト。コストパフォーマンスも評価。

データプロジェクターVPL-FE40の決め手となったのは、投影映像の鮮やかさです。4000ルーメンの輝度による映像は、従来使用していたプロジェクターと比べて非常に明るく、室内の照明をつけたままでクリアに映し出されます。80名を収容する広いセミナールームの後方からでも、支障なく投影された資料が読み取れます。また、プロジェクターを使用するたびに照明を調整する必要もなく、システムの操作面や授業の進行面でも楽になりました。



室内の照明をつけたまでも、投影映像が色鮮やかに見える。

高解像度(SXGA+)であることも選定理由の1つです。パソコンの性能や解像度の向上スピードを考慮し、セミナールームを将来に渡って対応できる施設とするには、SXGA+の解像度を導入しておくべきだろと判断したのです。これほどの高輝度・高解像度でありながら、従来のプロジェクターと比べてコンパクトなこと、コスト面の条件を満たしていたことも評価しています。

導入効果

ビデオ会議による双方向型授業でもVPL-FE40による投影映像は好評。

新しいセミナールームは2007年3月に完成し、現在では授業やシンポジウムなどで毎日使用しています。2台のVPL-FE40は天吊で設置され、2面のスクリーンに対して映像を投影します。投影するメディアは、パソコンやDVD、ビデオ、書画カメラ、ビデオ会議システムなどです。操作卓のコントローラーを通して操作しますが、この操作性を従来のシステムと統一することで、教員や学生など使用者がスムーズに使用できるよう配慮しました。

VPL-FE40による投影映像はカメラを通して鮮明に見えると利用している教員にも好評です。本体も天吊されていても気にならず、教室に溶け込むデザインだと思います。



天井に設置されていても気にならないデザイン。



操作卓を従来システムと統一することで、スムーズな操作を実現。

今後の展望

授業用セッティングの手間を軽減すべく、さらなる製品開発に期待。

今回改修したセミナールームは、設備としては成功していると思います。教室棟の各部屋には、すべてプロジェクターが設置されています。それが交換が必要になった場合には、高画質で立ち上がりの早いプロジェクターの導入を検討したいと考えています。

現在の製品に対して要望をあげるとすれば、立ち上がりがさらに速くなつて欲しいということです。授業と授業の間が短く、セッティングがたいへんなことがありますので、そのあたりをシステムでカバーしてくれると嬉しいと思います。



高輝度・高画質な映像は、教室の背後からでも読み取れる。

データプロジェクターの商品情報やお客さま事例をご覧いただけます。www.sony.co.jp/VPL

ソニーマーケティング株式会社 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

記載の商品に関するお問い合わせは

ソニー業務用商品お客様ご相談センター ▶ ナビダイヤル  **0570-00-2288** (全国どこからでも市内料金でかけられます)

携帯電話・PHS・一部のIP電話など、ナビダイヤルがご利用になれない場合：**0466-31-2588** FAX番号：**0466-31-2595**
受付時間：月～金 9:00～18:00（土日・祝日・年末年始を除く）

2007年11月現在